

プライベート歌集

古川  
滋子

プライベート歌集

古

滋  
子

## プライベート歌集

---

平成7年2月20日 発行

著 者 古 川 滋 子

千葉県浦安市美浜1-1-214

電話 0473-51-8858

制作社 創 栄 出 版 (株)

東京都豊島区北大塚2-3-16

電話 03-3949-7511

印刷所 (有) 創 栄 印 刷

---

ISBN4-88250-485-5 C0092

©1995 Shigeko Furukawa

## 目次

### I

|               |           |
|---------------|-----------|
| 勇氣ある者へ／5      | 人生案内／63   |
| かなしみをありがとう／12 | 魚三首／69    |
| 残念なことに／19     | 小萩／71     |
| 勤め人／25        | 秀吉について／76 |
| 定形外／32        | 天皇について／77 |
| 母について／38      | 小函／81     |
| 日々のいとなみ／41    | 虫のいろいろ／86 |
| 黒について／48      | けさの絆／90   |
| 五月の細胞／53      | 離岸流／95    |
| 神について／58      | 心の量／99    |



I



勇気ある者へ

高原に比良のシャクナゲただひとつ宇宙の風に吹かれつつ咲く

鳥一羽めざめて朝の羽振りするからだ眠れるわが暗  
き淵に

夏に冬春には秋を恋ふる星百億キロを一とせで巡り

いちにんに負ひきれぬものを思ふなかれこれより先  
は光の墓場

さ夜ふけて蟬のひと鳴きあやしけれすぐふさがりぬ  
闇のしじまは

「外圧」また和英辞書になく「人脈」と同じこのまま  
英語になるらむ

海外旅行より戻りし人に寄りにしが別段の風巻かず  
薫らず

微睡<sup>まどろ</sup>みに幼き蟬の声聞けり喉太くまだ調子出ぬらし

く  
囲われゆくヒト棲息地小さなる団地の庭に夏祭りゆ

戦後？ それはさまざまでしょうアメリカにアメリカ

カのゴミ日本に日本のゴミ

文明が文明を襲ふうやむやをわれ代助のやうに恐れる

山上のイエス この代に在りしかば電話なども上手  
く使ひこなさむ

走る走る走る車窓よりスピードを振り切って見る遠  
き松原

かなしみをありがとう

幾千の小さき心あってよし我ほがらかに秋の木あふ  
ぐ

かなしみをありがとう引き換へにあなたにあげる過  
去でよければ

伝説に踏み入れやすき足で立つこの突堤の際までも  
海

鬱蒼と地にたてがみの生え揃ひ君三十三歳をあゆみ  
はじめぬ

恋歌に雨はにはかに叩きつけファイナーレまでに跡形  
もなし